

プラスアルファ

ReSTART～自分たちの手で歴史を変えろ～

2023年9月15日発行 No. 395

今回の作成担当



副議長 近藤 直樹
高松運転所

J R 四国労組
LINE公式アカウント



友達募集中



あつまれ！JR連合！

～全国の仲間を総結集し、さらに魅力ある組織へチャレンジしよう～

J R 連合青年・女性委員会第32回定期総会が9月9日、神戸ポートピアホテルにて開催され、J R 四国労組からは幹事1名、総会委員4名並びに傍聴3名が参加しました。全国から100名を超える仲間が参加し、スローガン『あつまれ！JR連合！～全国の仲間を総結集し、さらに魅力ある組織へチャレンジしよう～』を掲げ、向こう1年間の活動方針を決定しました。



冒頭、沖畠議長（J R 西労組）が挨拶に立ち、安全確立への取り組み、政治活動について、青年・女性委員会活動への取り組みについて所信を述べました。また、来賓としてJ R 連合・荻山会長、同青年・女性委員会担当の相良組織局長、地元J R 西労組より上村中央執行委員長、川端中央副執行委員長にお越しいただき、期待と激励を込めた挨拶を賜りました。

質疑では、J R 四国労組より芝総会委員が「安全について」、「政策課題について」、「仲間との交流」など諸課題について発言しました。



芝総会委員
より発言



議長団に選出された
藤岡総会委員



J R 連合
荻山会長ご挨拶



今回で退任となった
矢野前幹事

JR四国労組総会委員の発言要旨

1. 安全について

JR四国労組では、安全の確保は鉄道事業者にとって絶対に守るべき使命であり、すべてに優先する最重要課題との考えのもと、チェック・提言機能を発揮し、安全の取り組みの強化を図っております。鉄道は、過去の痛ましい事故を教訓とすることで安全性を高めてきました。ルールを遵守していれば防げた事故も最近では散見され、改めてその有用性を認識します。一方で、そのルールが実態に即しているか、安全が最重要課題であるからこそ、最適解を考える必要があります。青年女性会議として若年層の働く組合員の意見や考えを吸い上げて、「安全・安定・安心輸送」の実現に向けて進んで参ります。そして、先手をうった労働運動を展開し、安全最優先の職場風土づくりに努めて参ります。

2. 政策課題について

コロナ禍による運輸収入への影響は落ち着きを見せていますが、ニューノーマルな生活スタイルが定着するなか、運輸収入も元の水準まで戻りきっていません。加えて燃油価格の高騰による物価高により、JR 産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。青年女性会議としての活動を停滞させることなく、必ず来る明るい未来に向け変化を恐れず主体性を持って前向きにチャレンジしていきます。そして、私たち四国で暮らし、四国で働く者の夢である四国新幹線実現のための議論の加速、機運の醸成に向けて様々な場で意見を発出して参りますので JR 連合のお力添えをお願い致します。

3. 仲間との交流について

私たちJR四国労組は役員研修会やユースラリーなどのJR連合が主催する行事に参加させていただいています。

四国地協としての青年女性委員会の活動はまだまだできていないのが現状ですが、今年2月には単組間交流として、JR西労組青年女性委員会と意見交換会を開催しました。

地協での活動は「プチJR連合」の活動と言われているように青女世代の離職が相次いでいる今だからこそ仲間づくりや横の繋がりを作るためにとても重要な活動だと考えています。

グループ労組等を巻き込んだ活動に取り組んで参りますので状況が許せば、ぜひ、四国の仲間と交流しましょう。

また、今総会において、JR四国労組から選出の矢野前本部青年女性会議長をはじめ、5名の役員が勇退、新たに本部青年女性会議の近藤副議長ら5名が幹事に選出されました。

最後に総会アピールを採択し、李澤新議長の発声のもと団結ガンパローで総会を締めくくりました。



【役員選出】

役職名	氏名	単組	備考
議長	李澤 亮汰	JR西労組	新任
事務長	坂上 拓也	JR東海ユ二オン	新任
幹事	壬生 雅大	JR北労組	新任
	岩田 なゆか	JR東海ユ二オン	新任
	三宅 美花子	JR西労組	再任
	近藤 直樹	JR四国労組	新任
	稲葉 稜	JR九州労組	再任
	石塚 大祐	貨物鉄産労	再任



李澤新議長
による団結ガンパロー



幹事に選出された
近藤幹事

